

別冊：資料編

令和 7 年度 生涯学習推進計画進捗状況（一覧）

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1	多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ るよう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。	●広報春日井	生涯学習に関する情報を 始め、市の魅力、市政情 報に関するきめ細かな情報 を発信するため、広報誌を 発行する。	発行回数：年12回（毎月1日発行） 仕 様：A4 全面カラー 発行部数：96,000部（令和8年1月号まで） 147,000部（令和8年2月号から） 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報（ほか） 配 布 先：市内全世帯（令和8年2月号から）	○	令和8年2月号から市内全世帯へ配布 したほか、市公共施設等へ設置すること で広く市政情報を発信した。	広報広聴課
					民間の地域情報誌 の活用	民間の地域情報誌を活用 し、講座やイベント情報、 生涯学習に関する情報を 発信する。	広報春日井の全戸配布開始に伴い、令和8年2月号から廃止	—	全戸配布されている「地域みっちゃく生活 情報誌「月刊はるる」」へ掲載することで、 子育て世代に向けて講座情報等を周知 した。	広報広聴課
					民間の地域情報誌 の活用	民間の地域情報誌を活用 し、講座やイベント情報、 生涯学習に関する情報を 発信する。	令和6年4月号をもって廃止	—		いきがい推進課
					施設における生涯 学習情報コーナーの 設置	公民館等のロビーに生涯学 習に関する講座やイベント について紹介するスペースを 設置する。	施設内の共有スペースを活用し、各公民館などで開催される講座・行催事の情 報コーナーを設置した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					●生涯学習情報サ イト「まなびや選 科」、市ホームペ ージ、SNS等、イン ターネットを活用した 情報の提供	市ホームページの運 営	市民一人ひとりの求める情 報を的確に提供できるよ う、春日井市ホームペ ージで講座情報、イベント情報 を提供する。	○	市ホームページにおいて、情報を発信し、 広く講座情報等を周知した。	広報広聴課
					生涯学習情報サイ ト「まなびや選 科」、市ホームペ ージ、SNS等、イン ターネットを活用した 情報の提供	生涯学習情報サイト「ま なびや選科」で講師や生涯学 習活動団体の情報を提供 する。	アクセス件数：12,244件（前年比 59,966件減） 団体登録件数：45団体（前年比 78団体減） 講師登録件数：190人（前年比 157人減、新規登録 21人）	○	発信方法をKintoneに変更し、登録者 に対し掲載確認を実施。 講師登録の一斉更新を実施し、活動実 績がなく、登録のみとなっていた講師を削 除した。	いきがい推進課
					SNSによる発信	市公式LINEを運用し、 様々な市政情報を発信す る。	市公式LINE友だち登録者数 34,518人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 5,534人 （前年比648人増） 「文化・生涯学習」分野へのセグメント配信件数 100件	○	市公式LINEにおいて、利用者自身が必 要とする市政情報を適時・的確に発信し た。	広報広聴課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1	多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ よう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。 ●駅や施設等に設 置されているデジ タルサイネージ等 を活用した情報の 提供	様々な情報媒体を 活用した情報の発 信	施設に設置されているデジ タルサイネージ等を活用して 情報を提供する。	ふれあいセンターなどの施設に設置されているデジタルサイネージを活用し、施設の 貸館利用の紹介動画や講座開催の情報を提供した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					春日井駅デジタルサ イネージでの情報発 信	春日井駅のデジタルサイ ネージを活用して情報を発 信する。	年間27回スケジュールを更新（原則として月2回） ＜放映例＞ ・道風記念館館蔵品展「一回性の美学」PR ・道風記念館企画展「おののとうふう」PR ・特別展「刻された古代日本の書」PR	○	JR春日井駅自由通路に設置している大 型モニターの公共掲示板において、市政 情報等を放映した。	広報広聴課
					市政だより	放送をケーブルテレビに委 託し、市民に映像による行 政情報を提供し、市政の PR及び政策への理解を深 める。	市の政策や行催事などの番組の制作、放映 ・放映回数 毎週1番組（5分） 原則7回／日、計51番組 ・市施設での放映等 東部市民センター、味美ふれあいセンター等18施設	○	YouTubeにおいて、市の政策等を市政 だより（動画）として制作し、配信した。	広報広聴課
					報道機関との連携	報道機関に取材依頼し、 各種講座やイベントのPRを 行う。	講座、講演会、生涯学習活動団体による館内展示について報道各社へ取材を 依頼し、新聞に記事が掲載及びケーブルテレビで放送された。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
	2	生涯学習の 魅力や活動 情報の発信	生涯学習に対 する市民の関心 を深めるため、 学ぶ楽しさや生 涯学習活動の 魅力や重要性 を伝えます。	●活動する人の声 や画像を活用した 魅力発信	活動する人の声 が伝わる魅力的な発 信	講座受講者や活動団体の 様子が伝わるような手 法で生涯学習の魅力を発 信する。	講座受講者募集の際に、ホームページに前年度受講者の感想や講座風景写 真を掲載し、講座の内容を分かりやすく伝わるよう工夫した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				●市内の生涯学習 活動団体やサークル 等の情報発信	生涯学習の魅力や 活動団体の紹介	生涯学習の楽しさや魅力を 伝えられるような媒体 等を活用して情報を発信 する。	・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示し た。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。 ・生涯学習団体の協力を得て開催する講座を企画し、活動内容の魅力を団体の メンバー自らがアピールする場を提供した。 ・団体紹介コーナーを設け、認定団体一覧や、利用団体の会員募集案内等の 情報を発信した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				●生涯学習情報サ イト「まなびや選科」 掲載内容の充実	まなびや選科の充実	公民館やふれあいセンター 等で活動している団体の活 動内容等をインターネット上 で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」についてインターネットを通して広く提供した。ま た、登録している講師の活動の様子がわかるような写真やホームページへのリンク を掲載した。 アクセス件数：12,244件（前年比 59,966件減）	○	発信方法をKintoneに変更し、登録者 に対し掲載確認を実施。	いきがい推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2 学習活動の多 様なきっ かけの 提供	3 興味関心か ら実践へとつ ながる講座 等の実施	生涯学習を始め るきっかけとなる よう、初めての 人でも気軽に参 加できる学習機 会を提供すると ともに、生涯に わたり意欲的に 学びを深めるこ とができるよう な仕組みづく りを検討しま す。	初心者向け講座	初めての人でも気軽に参加 できるような初心者向けの 講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：49講座（214回） 実施講座：やさしいウクレレ入門、はじめてのバドミントン、はじめてのスマート フォン教室 ほか 延受講者数：2,818人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：45講座（127回） 実施講座：初めてのお香体験、ボールペン画をはじめよう！～濃淡で表現す る白と黒の世界～ほか 延受講者数：1,750人 (3)青年の家 実施数：11講座（62回） 実施講座：初心者のためのオカリナ入門講座、初心者のためのピアノ入門講 座 ほか 延受講者数：612人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					(1)公民館 実 施 数：3講座（26回） 実施講座：いきいきまなび舎、坂下いきいきゼミナール、友遊セカンドライフ 延受講者数：566人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：1講座（1回） 実施講座：若旦那と楽しむ、和文化ワークショップ 延受講者数：13人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
			ステップアップ講座	継続して学び続けられるよ う、習熟度に合わせてステ ップアップした講座を実施す る。	(1)公民館 実 施 数：6講座（23回） 実施講座：オカリナ講座（中級）、漢字の書体（書道中級）ほか 延受講者数：231人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：3講座（18回） 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座（入門編・応用 編）ほか 延受講者数：187人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	学習活動の多様なきっかけの提供	4	活動に関する相談窓口機能の充実	生涯学習に関する相談や学習成果の生かし方、市民活動に関することなど、様々な相談に対応します。	●生涯学習指導員等による相談窓口の充実	生涯学習指導員	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 いきがい推進課 2人 松原学習センター 3人	○		いきがい推進課
					●ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 2,165件（前年 2,073件・92件増） (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時 （相談内容により予約制） 相談件数 76件（前年57件・19件増）	○	窓口での対面相談や電話での相談、団体の活動の場へ出向いての相談を行うことができた。 近隣の大学とボランティア情報を連携し、大学生のボランティア活動への参加促進を行った。	市民活動支援センター
		5	市民ニーズの的確な把握	社会情勢や多様化・高度化するニーズに応じた学習機会を提供するため、様々な機会を捉えて市民ニーズを把握します。	●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで講座内容の改善を図った。	○		いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
3	誰もが参加しやすい学習機会の提供	6	生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供	市民の多様なライフスタイルに対応した学習機会を提供するため、多様な学習形態の充実を図ります。	●平日の夜間や休日に開催する講座の実施	夜間や休日における講座の開催	平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	(1)公民館 実施数：71講座（139回） 実施講座：盆踊り講習会、おやじの料理講座 ほか 延受講者数：2,444人 (2)ふれあいセンター 実施数：34講座（77回） 実施講座：心をゆるめる香りの講座、プログラミングでスマホゲームをつくる講座 ほか 延受講者数：1,076人 (3)青年の家 実施数：3講座（8回） 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドアわくわく体験講座 ほか 延受講者数：73人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
							平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	実施数：2講座 実施講座：簿記3級をめざして、バドミントンを楽しもう 延受講者数：307人	○	休日に開催することにより、多くの人に参加していただくことができた。	多様性社会推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	6	生活様式に 応じた多様 な学習ス タイルの提供	●託児付き講座の 実施	託児付き講座	子どもを持つ人も参加しや すいよう、託児付きの講座 を実施する。 (1)公民館 実 施 数：6 講座（13回） 実施講座：親子で楽しんで作ろう～ハロウィンのアイシングクッキー缶～（ほか） 延受講者数：199人（託児17人） (2)ふれあいセンター 実 施 数：2 講座（4回） 実施講座：似合うがわかるパーソナルカラー診断（ほか） 延受講者数：24人（託児7人） (3)青年の家 実施数：1 講座（2回） 実施講座：親子の愛着を深める「ベビーリトミック」～本物の音遊びで聴く 耳を育てよう～ 延受講者数：39人（託児0人）	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				託児付き講座	子どもを持つ人も参加しや すいよう、託児付きの講座 を実施する。 実 施 数：0講座	—	参加率の低い講座を廃止したもの。	多様性社会推進課
			●オンライン講座や 動画配信によるデジ タルコンテンツの充実	オンライン講座、配 信講座	大学連携講座等で会場で 受講する対面式とZOOM によるオンラインを併用した 講座を実施する。また、時 間や場所を問わず自分の 好きな時に受講できる配信 講座を実施する。 対面・オンライン受講併用講座（いきいきアカデミー） 実 施 数：54講座（54回） 延受講者数：5,085人（うちオンライン375人）	○		いきがい推進課、公 民館、ふれあいセ ンター、青年の家、東 部市民センター
					趣旨：市民が自発的に学び、そしてすぐに行動できる健康づくりのための知識を 広く提供する。 実施数：3回 講座内容：「元気コツコツ骨の話」、「いつでも、どこでも、誰でも楽しめる！ ファ ミリーフィットネス！！」、「ぐっすり眠ってスッキリ起きる！快眠の基本と実践」 延受講者数：245人	○		健康増進課
			●施設職員のオンラ インスキル向上	職員研修	施設職員のスキルアップの ため、配信講座に開催方 法関する研修を実施する。 令和7年度の実績なし	×		いきがい推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	誰もが 参加し やすい 学習機 会の提 供	7	障がい者、 外国人等 の生涯学 習活動へ の支援	障がいのある人 が地域社会 の中で多様 な学習活 動に参加 できるよう、 障がい配 慮したサ ポート体 制を含め、 合理的配 慮を提供 した学習 機会の事 実を図り ます。	●障がいへの理解 促進に向けた啓発	障がい理解するた めの啓発講座	講演：「感覚過敏のある子どもたちの世界」 ～感じ方の違いを知り、考える～ 日時：令和7年11月28日（金）14：00～16：00 場所：総合福祉センター 大ホール 参加者：161人 講師：加藤 路瑛氏 内容：目に見えない障がい特性である感覚過敏について、身近な事例や感じ方 などを講師の体験を踏まえた講演会	○		障がい福祉課
					●障がい者向け講 座等の実施	障がい者向け講座	令和6年度に引き続き、パソコン講座や視覚障がい者スマートフォン講座等の日 常生活に役立ててもらえる講座、障がいの特性に配慮しながら楽器演奏などを楽 しめる講座、誰でも簡単に運動ができる運動教室等を設定したが、講師等の都 合により、講座数が減少した。 実 施 数：12講座 実施講座：元気パワーアップ運動教室、のんびりゆったり体操教室、視覚障がい 者パソコン講座、音楽療法、こけ玉づくり教室 ほか 延受講者数：1,284人（内、障がい者312人） ※障がいの有無に関わらず募集	○	令和6年度から、講師の都合等により、 実施講座が減少した分、延受講者数も 減少したが、障がい者には昨年度よりも 多くの参加があった。	社会福祉協議会
						障がいの有無に関わらず生 涯学習活動に参加できる ような機会を提供する。	(1)ふれあいセンター 実 施 数：1講座（1回） 実施講座：今日！チョコマフィンをつくろう～宝物のようなお菓子～ 延受講者数：15人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						障がい者の生涯学 習支援	令和3年度から令和5年度まで文部科学省の委託事業として実施した「学校 卒業後における障害者の学びの支援推進」を令和6年度から市が新規に「障が い者の生涯学習支援」として継続することにより、障がい者の方の生涯学習活動 の場を提供した。 障がい者を主体としたサークル活動：12回、延参加者数243人 文化・スポーツ講座：2講座、3回、延受講者数 18人 障がい者の生涯学習支援連携協議会：会議 3回	○		いきがい推進課
					●障がい者図書 サービスの充実	障がい者図書サービ ス	(1)デジ図書製作数：38種 (2)点字データ製作数：70種 (3)対面読書：14回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1回（12日間） 受講者数：12人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1回（2日間） 受講者数：53人 (6)サビエ図書館に加入：登録者 9人	○	ボランティアの協力を得て障がい者が読書 を楽しめるよう事業を実施した。 全国的なネットワークであるサビエ図書 館に加入し、登録希望者の支援を行っ た。	図書館

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策			取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	誰 も が 参 加 し や す い 学 習 機 会 の 提 供	7	障 が い 者、 外 国 人 等 の 生 涯 学 習 活 動 へ の 支 援	外国人市民が 希望に応じた学 習ができるよう、 学 習 の 支 援 や ニ ー ズ に 応 じ た 学 習 機 会 の 提 供 に 努 め る と と も に、相 互 理 解 の た め そ れ ぞ れ の 文 化 等 を 学 ぶ 機 会 の 充 実 を 図 り ま す。	●外国人向け日本 語講座等の実施	外国人向け学習支 援	日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を 開催する。 (1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 実施回数：108回（3クラス×36回） 延参加者数：3,173人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：72回（2クラス×36回） 延参加者数：644人	◎	春日井市で生活する外国人も年々増 加傾向の中、参加者の需要を満たすた め、日本語教室（かすがいふれあい教 室）を2か所に増加したことなどにより、 延参加者が増加した。	多様性社会推進課
					●国際交流ルーム の活用	国際交流ルーム	常駐の相談員を配置し、 相談を受けたり、関係機関 等に繋いだりする一元的相 談を実施する。 延利用者数：4,317人	○	延利用者数は減少したが、市が運営す る国際交流ルームの公式SNS（X及び Facebook）での行政情報や 生活に役立つ情報などの発信回数を大 幅に増加させた。	多様性社会推進課
					●外国人市民との 交流事業の実施	わくわく！ふれあい ワールド	多文化共生を促進するた め、市内に住む外国人との 交流や異文化の紹介・体 験を行うわくわく！ふれあい ワールドを開催する。 延参加者数：3,413人	○	延べ3,000人を超える集客を維持してお り、グルッポ夏フェスや春日井まつりでは フィリピンの伝統的なダンスを披露するな ど、新たな試みも複数回実施できた。	多様性社会推進課
						日本の文化体験イ ベント	日本に対する理解を深める 日本の文化体験講座を開 催する。 延参加者数：49人	○	昨年度と比較して講座の実施回数及び 延人数を増やすことができた。	多様性社会推進課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

8

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた 学習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育 てについて学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	●親子で楽しめる学 習プログラムの充実	乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：14講座（83回） 実施講座：親子でふれあい遊び～楽しくピアノでリトミック～、親子で作ろ う！折り紙でくすだま ほか 延受講者数：1,026人 (2)ふれあいセンター 実施数：11講座（36回） 実施講座：ファミリー運動教室、夏休み子ども劇場 ほか 延受講者数：799人 (3)青年の家 実施数：1 講座（2 回） 実施講座：親子の愛着を深める「ベビーリトミック」～本物の音遊びで聴く 耳を育てよう～ 延受講者数：39人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)ひよこ教室・ひよこミニ：85回 延参加者数：2,837人（保護者：1,303名、子：1,543名） (2)その他講座等：96回 延参加者数：2,462人（保護者：1,111名、子：1,366名）※対象者 はこどものため、一部参加者数に小中学生含 (3)その他イベント等：2回 延参加者数：854人（保護者：495名、子：359名）※対象者はこども のため、参加者数に小中学生含	○		児童センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座 を通じ、育児に必要な知識を提供した。 実 施 数：25回 参加者数：328組 704人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら、親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを 話し合える場を作ったり、保護者の友達作りも支援した。 ・親子教室すくすく 13回 参加者数：353人 ・子育てサロン 6回 参加者数：64組136人 ・孫といっしょ 1回 参加者数：2 組 7 人 ・ふたごちゃん集まれ 12回 参加者数：56組172人	○		子育て支援センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるとともに、子どもや 親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実 施 数：34回 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作 あそび、季節行事など 延参加者数：1,415人	○		交通児童遊園

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた学 習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育 てについて学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実を 図ります。	●親子で楽しめる学 習プログラムの充実	乳幼児を対象とした 講座	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設ける。 ・読み聞かせ 50回 ・げんきっ子体操 191回 ・親子教室 38回 ・育児講座 12回 ・母親のリフレッシュ講座 2回 ・子育て教室 8回 ・親子エアロビクス 1回 ・バランスボールでリフレッシュ 1回 ・スマホを使った写真の撮り方 1回 延参加者数：12,558人	○		子育て子育て総合 支援館	
					●親子で楽しめる学 習プログラムの充実	乳幼児を対象とした 講座	乳児期からの読書活動を支援するため、また家庭における読み聞かせを継続するため、親子向けの読み聞かせを行う。 (1)ブックスタート 実 施 数：48回 参加者数：1,850組 (2)にこにこおはなし会 実 施 数：図書館 33回、西部ふれあいセンター 11回 参加者数：図書館 725人、西部ふれあいセンター 138人 (3)紙芝居とお話を聞く会 実 施 数：152回 参加者数：1,433人 ※令和7年度から絵本と紙芝居をセットにした「えほんばこ」の貸出しを開始するとともに、団体貸出の利用対象を拡大するなど、幼稚園・保育園・学童保育施設等における読み聞かせ活動を支援している。	○	乳幼児期から絵本等に親しめるよう事業を実施した。	図書館	
						子育てサポートキャ バン隊	児童館、子育て支援拠点等のない地域で事業を行うことで地域の子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。 実施場所：6施設 延参加人数：3,797人（保護者：1,850人、こども：1,947人）	○		子育て推進課	
					●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	パパママ教室	妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児等について理解を深めるよう保健師や助産師が指導を行う教室を開催する。 (1)パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とパートナー 参加者数：357人（パパ144人、ママ213人） 内容：助産師、保健師が実技等を交えながら指導を行う。市薬剤師会の「お薬相談会」を教室終了後に開催 (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とパートナー 多胎は妊娠6か月以降対象 参加者数：776人（パパ389人、ママ387人） 内容：保健師講話（パープルクライング他）、先輩パパの体験談、妊婦疑似体験・育児体験、夫婦で行うリラクゼーション	○		こども家庭支援課	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

10

基本的 施策			取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた学 習機会 の充実	8	乳幼児期にお ける学習機会 の充実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育て について学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	食育講座(モグモグ 健康教室、カミカミ 健康教室、パクパク 健康教室)	乳幼児期の食育について、 月齢に分けて講座を実施 する。	(1)モグモグごっくん教室 対象：4～6か月児の第1子の保護者 参加者数：669人 (2)カミカミ歯っぴー教室 対象：8～11か月児の第1子の保護者 参加者数：343人 内容：管理栄養士の講話 離乳食の進め方、保健師の講話 生活リ ズム・成長発達・事故予防、歯科衛生士の講話 口腔機能の 発達と離乳食の進め方、食生活改善推進員が調理した離乳 食サンプル紹介、グループワーク 会場：総合保健医療センター	○	受講できない方や、受講後の復習用とし て、市オリジナルの離乳食動画を作成し ホームページで公開	こども家庭支援課	
						親支援事業(カンガ ルーひろば)	育児不安を抱える母親を 対象に、育児不安の軽減、 育児スキルの向上、孤立感 の解消を目的として、 育児指導を実施する。	対象：6か月～1歳児の子どもと母親 定員：18組 11回実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 延参加者数：188人	○		こども家庭支援課	
						育児相談	子育ての不安や孤立感が 軽減するよう、電話や面 接、Eメールで子育ての不安 や悩みの相談を受ける。	(1)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：38件 (2)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：131件 (3)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：91件 (4)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：340件 (5)すくすくEメール相談 相談件数：5件	○		子育て推進課（児 童センター等）、子 育て子育て支援 館、保育課（子育 て支援センター）、 交通児童遊園	
								(6)子育て子育て総合支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話35件、面接310件、合計345件				
								主に就学前児童の親の育児不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに 関する相談に対し、助言や情報提供を行った。 (7)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16：00 電話相談：14件 面接相談：63件				
(8)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：45件												

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課	
1	ライフス テージに 応じた 学 習 機 会 の 充 実	9	青少年期にお ける学習機会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人 間性、社会性を身 につけることができ よう、様々な体験 活動を通じて学ぶ ことができる機会 の充実を図ります。	●親子体験活動等 の実施	各種親子講座	親子を対象に、料理、工 作、体操を始めとし た体験型の講座など を実施し、子どもの 創造力を引き出す。	(1)公民館 実 施 数：33講座（50回） 実施講座：親子で3色パステルアート体験、親子で作るハムロールパン ほか 延受講者数：1,145人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：13講座（33回） 実施講座：親子講座「家族と一緒に恵方巻き寿司づくり」、親子パン教室 ほか 延受講者数：799人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
								実 施 数：84回 実施講座：にこにこ劇場、ミニコンサート、ファミリークッキング、パパとクッキ ング、げんきっ子フェスタ、豆まき、おやこ広場イベント、木管 楽器の音楽会 延参加者数：2,631人				子育て子育て総合 支援館
								実 施 数：1 講座（6回） 実施講座：自転車乗り方教室 延受講者数：58人				
						●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	小中学生を対象とし た講座 （親子対象は含ま ない）	小中学生を対象に、料理、 工作、体操を始めとし た体験型の講座など を実施し、子どもの 創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実 施 数：2 講座（2回） 実施講座：中部大学連携講座 「光のスピードを追いかけよう！」ゆがむ空間と、ゆがむ時間へ アインシュタインが解き明かした本当の世界！」 「文香（ふみこう）を作ってみよう！」 延受講者数：33人	○		いきがい推進課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

12

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた学 習機 会の充 実	9	青少年期にお ける学習機 会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人 間性、社会性を身に つけることができ よう、様々な体験活 動を通じて学ぶこ とができる機 会の充実を図 ります。	●小中学生を対 象とした講座、イ ベントの実施	小中学生を対象と した講座 (親子対象は含 まない)	小中学生を対象に、料理、 工作、体操を始めとした体 験型の講座などを実施し、 子どもの創造力を引き出 す。	(1)公民館 実 施 数：10講座（14回） 実施講座：ボイストレーニング～歌うまキッズになろう～ ほか 延受講者数：258人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：13講座（23回） 実施講座：子ども将棋教室、子ども運動教室 ほか 延受講者数：213人 (3)青年の家 実施数：3 講座（8回） 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトド アわくわく体験講座 ほか 延受講者数：73人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
								児童センター 講座等：18回、546人※対象者はこどものため、一部参加者数に乳幼児と その保護者含 その他イベント等：2回、854人（親：495名、子：359名） ※対象者は 子どものため、参加者数に乳幼児とその保護者含			児童センター
								交通児童遊園 実 施 数：6回 実施講座：手品教室、和太鼓体験教室 ほか 延受講者数：52人			交通児童遊園
								子育て子育て総合支援館 実 施 数：27回 実施講座：子ども講座、軽運動遊び、ヒップホップ、工作教室、児童の 部屋工作イベント、伝承遊び、おいしいクッキング、げんき 子会議 延参加者数：410人			子育て子育て総合 支援館
						子ども司書養成講 座、10代の未来さ がし講座	講座を開催することで、図 書館への関心を高め、読書 活動の意義を見出すことを 促す。	実施数：2 講座（3回） 実施講座：子ども司書養成講座 （現役の司書から図書館業務を学ぶ） 10代の未来さがし講座 （大学教員から人生の助けになることを学ぶ） 受講者数：27人	○	小中学生が本や図書館に親しめるよう事 業を実施した。	図書館
								里山体験（田んぼと森の学校） 実 施 数：9回 延受講者数：283人			野外教育センター

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1 ライフ ステージに 応じた学 習機 会の充 実	9 青少年期における学習機会の充実	青少年が地域や社会に参加することにより、豊かな人間性、社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動を通じて学ぶことができる機会の充実を図ります。	●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	土曜チャレンジ・アップ教室	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。 子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実施校：12校 実施回数：37回 延参加者数：436人	○	市内12校にて、子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すために、中部大学の学生ボランティア及びALT（外国語指導助手）の協力のもと、子どもたちにとってより豊かで有意義な経験を提供している。	学校教育課
				わいわいカーニバル	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。 開催日：5月11日（日） 開催場所：落合公園 参加団体数：63団体、事業数：55事業 来場者数：30,000人	○		子育て推進課
	10 成人期における学習機会の充実	家庭生活に関する知識や技術を習得する機会の充実を図ります。	●家庭教育の重要性を学ぶ学習機会の充実	ふれあい教育セミナー	家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。 実施団体数：38団体（認定こども園1園、私立保育園3園、幼稚園9園、小学校21校、中学校4校） 開催回数：169回（うち託児付き41回）（中止7回） 事業内容：「お料理教室～子どもの身体に優しいおやつについて学ぼう～」 「おこづかいの使い方を学ぶ」「防災セミナー」「性教育講座」ほか 延参加者数 10,902人（託児人数延べ161人）	○		いきがい推進課
				家庭教育に関する講座	家庭教育に関する講座 (1)公民館 実施数：1講座（1回） 実施講座：0歳から始める歯並び子育て（口育）講座 延受講者数：22人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	○	小・中学生、地域住民、企業等多様な世代に対し養成講座を実施し、認知症の正しい知識を広めた。	地域共生推進課
				消費生活講座	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。 消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実施数：12講座 実施講座：派遣講座（7講座）、市等主催講座（5講座） 延受講者数：173人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

14

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課	
1	ライフス テージに 応じた学 習機 会の充 実	11	高齢期における 学習機 会の充 実	高齢者が充実した 日々を過ごせるよ う、多様な講座を開 催するとともに、社会 参加できる機会を提 供します。		かすがいいいきアカ デミー	誰もがいきがいをもち、充 実した生活を送ることがで きるように、幅広い世代に学 習の場を提供する。	実 施 数：4コース各13回、全体講座2回 内 容：生活科学、歴史、文学、芸術文化の4コースを実施 延受講者数：5,074人	○		いきがい推進課	
						●健康づくり、趣味 等に関する学習の 場の提供	シニア世代を対象とし た講座	シニア世代を対象に健康や 趣味に関する講座を開催す る。 (1)公民館 実 施 数：2講座（10回） 実施講座：楽しいバランスボール～関節に負担なく有酸素運動～ ほか 延受講者数：107人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：7講座（34回） 実施講座：今日からはじめる肩こり・腰痛予防、今日からはじめるロコモ予 防 ほか 延受講者数：401人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
						●地域の支え手とし てのスキルを身に付 ける機会の提供	Uターン育児塾	祖父母世代に新しい育児 事情の学習機会を与え、そ の立場から育児参加をして もらい、出産・育児支援の 充実を図る。	祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米ババママのサポーターとして活躍 することを目的に実施した。 対 象 者：もうすぐ孫が生まれる人、または生後2か月までの孫がいる人 内 容：保健師の講話・育児体験 実施回数：4回 参加者数：84人	○	市オリジナル祖父母手帳作成し、ホーム ページに公開 ババママを応援するサポーターとしての役割 や祖父母手帳の啓発を兼ねたポスターを 作成し公共施設や医療機関に掲示。	こども家庭支援課
						●オンラインスキル向 上のための学習機 会の提供	シニア向けICT講座	デジタル格差の解消に向 け、シニア向けにスマートフォ ン講座等を実施する。	(1)公民館 実 施 数：8講座（19回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、シニアのための初めての 生成A I 講座 ほか 延受講者数：2440人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：3講座（14回） 実施講座：シニアのための生成A I 活用講座 ほか 延受講者数：160人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●消費者トラブルに ついて学ぶ機会の提 供	消費生活講座	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実 施 数：12講座 実施講座：派遣講座（7講座）、市等主催講座（5講座） 延受講者数：173人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策			取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績		自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた学 習機会の 充実	12	リカレント教育の 推進	マルチステージの人生に対応することができるよう、自己実現や職業能力の向上に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供します。	●資格取得を目指した講座の実施や情報の発信	資格取得を目指した講座の実施	自己実現や職業能力の向上に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会を提供する。	実施数：1講座（12回） 実施講座：簿記3級をめざして 延受講者数：263人	○	資格取得を目指す受講者のニーズに応えることができた。	多様性社会推進課		
						資格取得を目指した講座等の情報発信	自己実現や職業能力の向上に必要な知識、技能、教養を身につける学び直しの機会についての情報を発信する。	大学の単位を取得できる放送大学の履修生募集情報について、チラシの設置や広報春日井での周知を行った。	○		いきがい推進課		
2	生涯ス ポーツの 推進	13	コミュニティスポ ーツの推進	あらゆる世代の人々の交流を促進し、地域の活性化や人々の連帯感及び協働意識の向上を図るため、コミュニティスポーツを推進します。	●スポーツ推進委員の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、スポーツ教室等の実施に関する連絡調整及び指導・助言や健康・体力づくりの実技指導を行うスポーツ推進委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（3回） (2)その他（研修会等への参加） 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数：13件 派遣人数：48人	○	昨年度に引き続き、「かすがいスポーツフェスティバル」を開催した。	文化スポーツ振興課 （スポーツ・ふれあい財団）		
						学校区体育振興会 交流大会	健康・体力づくり運動に関する啓蒙と事業実施を行う学校区体育振興会を育成し、地域スポーツの振興を図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市スポーツ協会を通じて各学校区スポーツ振興会に補助金を交付した。 (2)学校区スポーツ振興会交流大会 期 日：11月16日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：ソフトバレーボール 169人（32チーム） グラウンド・ゴルフ 177人（59チーム）	○	多様な世代が参加できる運動機会を提供した。	文化スポーツ振興課 （スポーツ・ふれあい財団）		
						ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」とし、「みんなでラジオ体操会」を実施することで、ラジオ体操の普及を図る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月3日（日） 会 場：スポーレ春日井（朝宮公園陸上競技場） 参加人数：850人 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 期 日：7月19日（土）～8月31日（日） 団 体 数：67団体 延参加人数：4,985人	○	あらゆる世代の交流や健康づくりに貢献した。	文化スポーツ振興課 （スポーツ・ふれあい財団）		

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

16

基本的 施策			取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
生涯スポーツの推進	14	スポーツに関する学習機会の充実	市民が気軽にスポーツに取り組むきっかけとなるよう、日常的にスポーツやレクリエーションスポーツに親しめる機会の充実を図ります。	●スポーツ教室の実施	スポーツに関する講座・教室	健康づくりやいきがいづくりを推進するため、気軽に体を動かし、スポーツに親しめる講座を実施する。	(1)公民館 実施数：9講座（37回） 実施講座：はじめてのバドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー～、みんなで学ぼう！バラスポーツ「ボッチャ」体験 ほか 延受講者数：625人 (2)ふれあいセンター 実施数：15講座（69回） 実施講座：ファミリー運動教室、音楽と一緒にフロアヨガ ほか 延受講者数：1,160人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
				●スポーツイベントの実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェスティバルなどを実施し、多くの市民が生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期日：1月11日（日） 参加人数：5,782人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期日：10月13日（月・祝） 参加人数：6,778人 (3)2025！レクスボ&ウォーク祭 期日：4月27日（日） 参加人数 1,340人 (4)市民スポーツ大会 期日：4月1日（火）～3月31日（火） 参加人数：7,026人	○	多くの市民にスポーツする機会を提供することができた。	文化スポーツ振興課（スポーツ・ふれあい財団）
				●春日井市スポーツふれあい財団との連携強化	春日井市スポーツ・ふれあい財団との連携	生涯スポーツ教室や出張スポーツ講座を始め、さまざまなスポーツ教室（講座）やスポーツイベントを行う、春日井市スポーツ・ふれあい財団と連携し、スポーツに親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延回数：3,158回 延参加人数：75,323人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、Fリーグ春日井大会、ライフセービング体験&いのちの教室、萩原智子杯水泳競技大会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、飛び込みをマスターしよう！、親子で野球教室、スポーレ春日井記録会、ラグビーフェスティバルDAY2 ほか 延参加人数：14,765人	○	前年度に引き続き、満足度の高いスポーツ教室やスポーツイベントを実施することができた。	文化スポーツ振興課（スポーツ・ふれあい財団）

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	15	文化芸術の鑑賞機会や学習機会の提供	質が高く幅広いジャンルの公演を鑑賞したり、文化芸術を体験したりできる機会を提供し、誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図ります。	●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：実演芸術系22人＋美術系7人＝合計29人 実施回数：実演芸術系44回＋美術系11回＝合計55回 延参加者数：実演芸術系4,082人＋美術系252人＝合計4,334人	○	スクール・アート・ドア（授業型アウトリーチプログラム）では、アーティストの生い立ちの話とともに人生に影響を与えた曲を演奏することで、単に楽器の特長や曲の背景を伝える音楽の授業としてだけでなく、キャリア教育の側面を含むことができた。美術系のスクール・アート・ドアでは学校側の希望に沿って指導案作成の段階から手厚く授業をサポートした。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
				●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	令和6年度で廃止	—	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）		
				●芸術家によるアウトリーチ活動	わへく書つづ	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わへく書つづ」を実施した。 実施プログラム：5講座 実施回数：9回	○	美術協会の協力を得て事業を実施し、親子に体験機会を提供することができた。	文化スポーツ振興課	
				●かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供する。	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供した。	○	文化スポーツ振興課		
	16	市民による文化芸術活動の推進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組めます。	●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	(1)美術系事業 96歳セツの新聞ちぎり絵原画展、三沢厚彦 ANIMALS 彫刻と絵画、横村さとの展「愛のアランフェス」から「おいしい関係」「モーメント」まで (2)舞台系事業 水曜日のカンパネラ、フォレストコンサート、園田隆一郎 指揮 愛知室内オーケストラ春日井特別演奏会、松竹大歌舞伎 ほか	○	三沢厚彦の作品は、春日井市内の中学校の美術の教科書に掲載されており、子どもたちは勿論、幅広い世代の来場者が訪れ、大きく目標を超える集客となった。また、春日井市出身の指揮者・園田隆一郎氏のコンサートを行い、多くの市民の関心を集めた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）	

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	16	市民による文化芸術活動の推進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組めます。	●公民館等や文化芸術拠点施設を活用した発表機会の提供	市民美術展覧会ほか	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。	市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 審査：8月3日（日） 展示：8月16日（土）～24日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計597点（高校生の応募42点） 鑑賞者：11,549人	○	展覧会会期中の総入場者数は11,549名で、前年比1,924名増加。コロナ禍で来場者数が減少した69回以前の水準に戻った。新規出品者は前年比27名減少し、全体で68名。新規者では10代の出品が21名と最も多い一方、昨年と比較すると20名減少。しかし、洋画部門で高校生が市長賞を受賞するなど、高校生の作品の水準の向上が見られた。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
		17	特色ある文化の推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	道風展	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。	春日井展：10月26日（日）～11月3日（月・祝） 表彰式：10月26日（日） VR展：10月26日（日）～11月30日（日） 学生半紙の部巡回展：11月4日（火）～11月30日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：11月26日から、西部ふれあいセンター、グルッポふじとう、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部299点、学生部5,059点、計5,358点	○	全体の出品数は減少したが、条幅の部では69点の増となった。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	書に関する作品の展示	全国的にも数少ない書専門の美術館である道風記念館において、収蔵品や他施設から借用したさまざまな書作品・書関係資料を展示する。	(1)特別展 「刻された古代日本の書」 9月5日(金)～10月19日(月) (2)企画展 「おののとうふう～小野一族のひみつ～」 7月18日(金)～8月31日（日） 「藤田蒼碩の書」 10月26日(土)～11月24日(月) (3)館蔵品展 「一回性の美学」4月23日（木）～7月13日（日） 「書の魅力」11月29日（土）～2月15日（日） 「その地を想って筆をとる」2月19日（木）～4月19日（日） (4)第44回道風の書臨書作品展 1月17日（土）～2月1日（日） ※年間観覧者数：7,472人	○	特別展では、古代の日本で石碑や仏像に彫られた書を拓本で紹介した。書や拓本に興味のある人だけではなく、古代遺跡や仏像など幅広い方面に興味のある人から注目される展覧会となった。 館蔵品展「書の魅力」は、書の鑑賞方法を伝えることをテーマとし、内容は変えつつ同タイトルで継続開催している展覧会である。わかりやすいタイトルということもあり、注目される展覧会となった。	道風記念館
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史作品の公募	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。	自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。 テーマ：「忘れる／忘れない」 公募数：217作品 作品集への掲載数：15作品 ※掲載者の交流会を開催するなど、コミュニティの醸成に努めた。	○	応募点数は昨年より44作品減少。しかし6歳から97歳までの幅広い年代からの作品が集まり、30代以下の応募が半数を占めた。掲載者の交流会を開催し、コミュニティの醸成に努めた。また、独立系書店での販路拡大にも努め、SNSでの広報につながった。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	17	特色ある文化の推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史関連事業	自分史活動により、個人を敬い、心のつながりを認識することを目指す。	ネット上での発信及び双方向コミュニケーションを目的として、ポッドキャスト番組を継続。また、一般財団法人地域創造の助成により、隣人の人生を知り、豊かなコミュニティの創出を目指すアーティスト・レジデンスの「キッチン・ストーリーズ」を開催した。 (1) ポッドキャスト番組「そしておしゃべりは続く」 出演：尹雄大（もの書き、インタビューア）ほか フォロワー数：722人 再生数：29,693回 (2) 「モヤモヤを話す、聞く」 講師：古橋敬一（フィールドワーカー、愛知学泉短期大学講師） 参加者数：13人 「番外編 きく・はなす・よむ ～ ミハエル・エンデ『モモ』を手がかりに」 講師：尹雄大 参加者数：20名 (3) キッチン・ストーリーズ 参加創造者：本原令子（美術家・陶芸家）、古橋敬一、村上将城（写真家、名古屋学芸大学准教授）参加者数：34人	○	ポッドキャスト番組では30～50代のリスナーが約7割で、これまで自分史を届けにくかった年齢層にアプローチ出来た。キッチン・ストーリーズでは、高蔵寺地区を中心に、地域の人々の関係性を再構築したコミュニティ形成を図ることが出来た。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
		18	郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●文化財や伝統芸能等の保存、継承、活用	郷土芸能出前講座	地域の郷土芸能保存会を小学校に招き、模範演技の披露や体験・練習・発表を通して郷土芸能の保存・伝承について考える機会を提供する。	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験を通じて地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸能出前講座を実施した。 開催校：篠木小学校 開催日：11月13日（木） 参加児童数：4年生 113人 保存団体：小木田棒の手保存会始め3団体 開催校：出川小学校 開催日：11月21日（金） 参加児童数：4年生 99人 保存団体：小木田棒の手保存会始め3団体 開催校：神領小学校 開催日：12月9日（火） 参加児童数：4年生 73人 保存団体：小木田棒の手保存会始め3団体	○	小学生が実際に体験することにより、地域の郷土芸能に興味や関心を持ってもらうことができた。	文化財課
					●文化財や伝統芸能等の保存・継承・活用	郷土芸能等のデジタルアーカイブ化	市の文化財について認知度を高めるため、VR（バーチャル・リアリティ）による見学ツアーやPR動画や360°動画の作成等、デジタルデータを活用した文化財情報を積極的に発信する。	引き続き、民俗展示室や内々神社、下原古窯など市内の遺跡等14件について、VR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公開した。また、民間の助成金を活用し、「外之原中区獅子神楽」の記録保存映像を作成し、市ホームページで公開した。	○	市内の文化財について周知できた。また、市の歴史や文化の特色を知ってもらうことができた。	文化財課
					●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	民俗考古企画展示	市の歴史や文化財の周知啓発を図る考古資料や民俗資料を活用し、企画展を実施する。	(1)考古関係「陶片から『春日井』のルーツを探る！～律令制と須恵器生産の諸相～」始め 2回 観覧者数：1,387人 (2)民俗関係「五月人形～端午の節句～」始め 2回 観覧者数：1,223人	○	市内の文化財について周知できた。また、市の歴史や文化の特色を知ってもらうことができた。	文化財課

基本目標Ⅱ 多様なニーズに応じた学び機会の充実

20

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	18	郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座を実施し、市の歴史や文化財の周知、啓発を図る。	(1)内津文化財祭 開催日：5月11日（日） 会 場：内々神社 内 容：棒の手披露、雅楽の演奏、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、社殿・庭園・すみれ塚ガイド、茶会 参加者数：500人 (2)ハニワまつり 開催日：10月25日（土） 会 場：二子山公園 内 容：ハニワの野焼き、体験工房、舞台芸能、製鉄実演、クイズラリーなど 参加者：5,200人 (3)講座 (ア) 親子体験教室 6回 実施講座内容：「オリジナルのこいのぼり飾りをつくろう」ほか 延受講者数：130人 (イ) 特別講座 3回 実施講座内容：「律令制下の猿投窯」ほか 延受講者数：212人 (ウ) 古代史講座 3回 実施講座内容：「松河戸遺跡と春日井の弥生時代」ほか 延受講者数：191人	○	市内の文化財について周知できた。また、市の歴史や文化の特色を知ってもらうことができた。 前年度の参加者アンケートを基にした親子体験教室等を実施した。	文化財課
					●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	郷土誌かすがいの発行	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めるため、郷土誌かすがいを発行する。	発行日：令和7年11月1日 発行部数：2,500部 内容「春日井の蝶の変遷（二）」尾崎尚志 「濃尾震災と春日井-新たに発見した古文書を中心に-」近藤雅英 「篠木第三号墳の調査成果」春日井市教育委員会文化財課 「神屋地下堰堤」近藤文男	○	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めることができた。	文化財課
4	自主的な学習活動への支援	19	図書館、図書室の充実	市民の多様な学習ニーズに対応するため、図書資料をはじめ、各種資料の整備を推進するとともに、利用者ニーズに対応したサービスの充実を図ります。	●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料の充実	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。	蔵書数 春日井市図書館 588,338冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 76,819冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 93,045冊 合計 758,202冊 (9,353冊減)	○	市民の要求を考慮しつつ、特定のものに偏ることのないように留意して、資料を収集した。	図書館
					●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービスの充実	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	(1)T C（ティーンズコーナー）通信発行 年4回 (2)T C蔵書の拡充 令和6年度末6,927冊 → 令和7年度末6,989冊 (3)10代の未来さがし講座 科学大好きみなさんへ～光る生きもの博士からのメッセージ！～ 日 時：12月6日（土） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒17名	○	中高生が本や図書館に親しめるよう事業を実施した。	図書館

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
4 自主的 な学習 活動への 支援	20 生涯学習活動 団体への支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体をはじめ、文化やスポーツ等の社会教育関係団体への支援を行い、地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図ります。	●団体活動のPR支援	生涯学習活動団体のPR支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体のPRを行う。 ・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示した。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。 ・生涯学習団体の協力を得て開催する講座を企画し、活動内容の魅力を団体のメンバー自らがアピールする場を提供した。 ・団体紹介コーナーを設け、認定団体一覧や、利用団体の会員募集案内等の情報を発信した。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約を受け付けた。 (2)施設使用料の2分の1を減免する。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際に、補助金を交付する。 (1)スポーツ関係 国際大会出場補助：個人 23件、団体 0件 全国大会出場補助：個人 166件、団体 12件 全国大会開催補助 1件（第35回全国高等学校剣道選抜大会）	○	昨年度に比べ、国際大会への出場件数が増加した。	文化スポーツ振興課
			●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	春日井市スポーツ協会運営費補助金	スポーツ協会の運営や、学区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。 スポーツ協会の運営及び加盟40団体の育成、各競技団体が行うスポーツ教室等を助成により、スポーツの振興を図った。 (1)市民スポーツ大会総合開会式 期 日：6月15日（日） 団 体 数：32団体 参加人数：185人 優秀表彰 個人13人 団体2団体 一般表彰 個人4人 (2)各競技団体が行う事業 スポーツ教室、選手派遣及び育成事業、団体主催事業	○	各加盟団体の活動によりスポーツの振興を図ることができた。	文化スポーツ振興課（スポーツ・ふれあい財団）

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	21	健康に関する学 習機会の充実	生涯健康でいきき と暮らせるよう、健康 づくりへの意識高揚 を図るため、健康に 関する情報提供や 健康に関する知識を 身につける学習機会 の提供を推進しま す。	●各ライフステージの 健康課題に対応し た講座の実施	女性のためのヘルス アップ講座	各ライフステージにおける女 性を対象とした健康づくり講 座を実施する。	趣旨：女性が生涯健康で生活するために、壮年期において注意すべき健康問 題等を周知するとともに、今後の高齢期に向けた健康づくりへの取り組み方を考 えるきっかけとする。 実施回数：2回 受講者数：31人 講座内容：更年期の知識や対処法、ロコモリスク軽減のための運動について学 ぶ	○		健康増進課
						お気軽健康教室	高齢期における自立度の 低下を防ぎ、健康寿命の 延伸を図るため、ロコモテ ブシンドロームや認知症の 予防に効果的な軽運動を 行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：42回 延参加者数：1,177人 (2)保健センター 実施回数：91回 延参加者数：1,291人	○		健康増進課
					●健康づくりや介護 予防を実践する機 会の提供	健康に関する講座 の実施	幅広い世代を対象に健康 に関する知識の習得や体 力づくりなど様々な切り口で 健康に関する講座を実施 する。	(1)公民館 実施数：21講座（108回） 実施講座：ゆったりストレッチ、簡単キックボクシングで楽しく運動とボディアク ほか 延受講者数：1,734人 (2)ふれあいセンター 実施数：18講座（97回） 実施講座：健康ヨガ、音楽療法で生き生きライフ ほか 延受講者数：1,555人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						健康救急フェスティ バル	市民団体、医師会などの 関係機関、健康支援プロ グラム登録企業が「健康・ 救急」をテーマにした体験型 のブースや講演会などを実 施する。	9月第1日曜日の「健康の日」、9月9日の「救急の日」にあわせ、市民の「健 康づくり」の知識を広げるとともに、「救急活動」への理解を深めることを目的に実 施。 実施日程：9月7日（日）10時～14時30分 会 場：市役所、文化フォーラム春日井 延参加者数：6,610人	○		健康増進課
						健康づくり出前講座	保健師、栄養士、歯科衛 生士又は健康支援プログラ ムの登録企業の講師が地 域で活動する団体やグルー プ等に出向いて、健康づく りに関する各種講座を開催 する。	趣旨：地域において市民が健康づくりに取り組む機会を提供し、市民の健康の 維持及び増進を図ることを目的とする。 実施回数：89回（うち企業講師28回） 実施講座：講座メニュー一覧登録講座及びその他 延受講者数：2514人	○		健康増進課
						市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっか けづくりとなるよう、健康づ くりと予防方法に関する正し い知識を身につけることがで きる講座を実施する。	趣旨：市民が自発的に学び、そしてすぐに行動できる健康づくりのための知識を 広く提供する。 実施数：3回 講座内容：「元氣コツコツ骨の話」、「いつでも、どこでも、誰でも楽しめる！ ファ ミリーフィットネス！！」、「ぐっすり眠ってスッキリ起きる！ 快眠の基本と実践」 延受講者数：245人	○		健康増進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課 題 に 対 応 し た 学 習 機 会 の 充 実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推進 します。	●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネ ルギー、身近な自然環境やそ の保全活動等をテーマに、 座学やフィールドワーク、 ワークショップを通じて学ぶ 機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座 学やフィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 第 1 回「温暖化で異常気象が日本狙い撃ち！四季から二季へ、なぜ？」 第 2 回「フィールドワークで蝶の生態系を知ろう」 第 3 回「都市における生物多様性保全の意義を捉え直す」 第 4 回「心理学からみる環境問題」 第 5 回「フードスケープから読み解く持続可能なフードシステム」 第 6 回「カーボンニュートラルなエネルギー需給に向けて」 受講者数：41人	○	例年定員を満たす受講者を確保できており、受講生は春日井まつりボランティアへの 参画（R 7 年度 4 名）や、愛知県地球 温暖化防止活動推進員としての活動（R 6 年度末現在春日井市12名のうち 8 名 が受講生）など、環境保全活動の実践に つながっている。	環境政策課
						かすがい環境フェス	環境対策の推進や環境活 動を行っている個人や団体 等を表彰し、環境問題につ いて学ぶ機会を提供する。	市民、事業者等が環境について考え、行動するきっかけづくりとして、多様な主 体との連携を図り、「学ぶ、触れる、交流・体験する」参加型の講演等を実施。 日 時：11月29日（土） 場 所：文化フォーラム春日井、春日井市役所 1 階市民ホール 参加者数：3,000人 内 容：表彰「かすがい環境賞」「環境絵画コンクール市長賞」 環境に関する各ブースのワークショップ等 基調講演「らんま先生のエコ実験パフォーマンスショー」	◎	環境に関する各ブースのワークショップ等を 開催する他、かすがい環境賞表彰、パナソ ニック㈱空質空調社と連携し、環境絵画コ ンクール特別賞（春日井市長賞）を継 続設置。副賞としてバックカー車ヘラッピング。 エコ実験パフォーマンスであるらんま先生を招 き、「環境問題」「科学実験」「パフォーマンス」を融合し、地球環境へのメッセージを込 めた知的体験型パフォーマンスを開催。	環境政策課
						カーボンフリー 環 境 講座	地球温暖化対策に対し、 自ら考え、実践することがで きる次世代の人材育成を 図るため、地球温暖化対 策等を学ぶ体験型講座を 実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社取り組み、地 球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：11月15日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル 3 階会議室・F D A 格納庫 参加者数：17人	○	㈱フジドリームエアラインズの協力のもと、空 港資源を活用した航空会社が取組む地 球温暖化対策について学ぶ体験型講座を 開催した。	環境政策課
						環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(1)いきいきアカデミー 実 施 数：1 講座（1回） 実施講座：サステナビリティと私たちの生活(生活科学コース) 延受講者数：107人	○		いきがい推進課
						環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(1)公民館 実施数：1 講座（4 回） 実施講座：春日井の蝶から考える自然環境保護 延受講者数：47人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応した学 習機会の 充実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推 進します。	●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	環境に関する講座	家庭から出る生ごみを堆肥 化する生ごみ減量講座 （ぼかし作り）や地域の団 体等に対するごみ減量等の 出前講座を開催する。	実施数：3講座（8回） 実施講座：生ごみ減量講座、出前講座（外国人向け講座・ゴミの現状や分 別方法） 延受講者数：188人	○	スターバックスイーアス春日井店と連携して プラスチック資源循環に関する出前講座を 実施	ごみ減量推進課
						ごみの減量と4 R の 推進に関する講座	ごみの減量と4 R の推進を 図るため、生ごみの堆肥化 やごみとして処分される物 品をリメイクして活用する講 座などを開催する。	生ごみの堆肥化講座や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座 を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設 けた。 実 施 数：47講座 54回 実施講座：ぼかし作り教室、リメイク教室、包丁の研ぎ方教室、親子工作 教室 ほか 延受講者数：627人	○	木曽広域連合と連携して、新たな講座を 実施	クリーンセンター（エ コメッセ春日井）
						●親子で環境を学 ぶ機会の充実	子ども環境アカデミー	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで地球温暖 化、自然環境保全、循環 型社会等について総合的、 横断的に学習する機会を 提供する。	子ども（小学4～6年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境につい て学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 実施内容：日本のカメと外国のカメ～カメを通じて外来種について知ろう～ 打ち水で気温を下げよう！～竹で水でつぼうを作ろう～ 食とくらしの安心、安全、食品ロスについてみんなで考えよう～牛 乳パックを利用した携帯用ビニール袋入れを作ろう～ ほか 受講者数：59組138人	◎	定員を上回る応募があり、参加者からも好 意的な意見が多くみられるなど、啓発効果 が高いと考えられる。
		23	防災・防犯に関 する学習機会の 充実	犯罪や災害等に強い 安全・安心のまち づくりを目指し、市民 の実践力を高めるた めの学習機会の充 実を図ります。また、 交通安全啓発のた めの学習機会を提 供します。	●防災、防犯に関 する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考 えて行動し、提言できる地 域のリーダーを育成する春 日井安全アカデミーを開催 する。	市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづ くりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 生活安全コース：8講座 防災コース：7講座 実施期間：9月6日（土）～12月13日（土） 参加者数：109人（86人卒業）	○	受講者の防災、防犯についての情報・知 識の向上が図られ、全日程を土曜日の開 講としたことで若い世代の受講が増えた。	市民安全課
						安全安心フェア	市民への自助力及び共助 力の向上を推進するととも に、防災、防犯及び交通 安全意識の高揚を図るこ とを目的に、安全安心フェア を実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び 共助力の向上を推進するとともに、防災・防犯・交通安全への意識の高揚を図 ることを目的とした安全安心フェアを実施した。 日 時：6月15日(日)午前9時30分～午後3時 会 場：文化フォーラム春日井交流アトリウム、市民広場及び市役所 1 階市 民ホール 参加人数：約3,500人	○	市民の防災・防犯・交通安全意識の高揚 を図ることができた。	市民安全課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応した学 習機会 の充実	23	防災・防犯に 関する学習 機会の充実	犯罪や災害等に 強い安全・安心 のまちづくりを 目指し、市民 の実践力を高め るための学習機 会の充実を図り ます。また、交 通安全啓発のた めの学習機会を 提供します。	●防災訓練、水 防訓練の実施	総合防災訓練	地震災害に対する参加機 関との相互協力体制を確 立するとともに、市民の防災 意識を高めるため、防災訓 練を実施する。	市・各防災関係機関・地域 自主防災組織・地域住民等 の地震災害に対する相互 協力体制を確立し、市民の 防災意識を高めることを 目的とした、総合防災 訓練を実施した。 日時：11月2日(日)午前 9時～11時30分 主会場：牛山公園グラ ウンド 副会場：上条小学校 参加人数：約1,000人	○	参加機関との相互協力 体制の確立と、参加住 民の防災意識の高揚を 図ることができた。	市民安全課
					●防災訓練、水 防訓練の実施	水防訓練	河川の決壊等の水害を 想定し、水防技術の向 上と水防体制の充実、 市民の水防に対する意 識を高めるため、水防 訓練を実施する。	河川の決壊等の水害を 想定し、水防技術の向 上と水防体制の充実、 市民の水防に対する意 識を高めるため、水防 訓練を実施 実 施 日：6月8日(日) 訓練会場：出川小 学校(グラウンド) 内 容：水防工法訓 練 参加団体：春日井市、 春日井市消防団、春 日井建設協会、春日 井警察署	○		河川排水課
					●交通安全教室 の実施	交通安全教室	交通安全意識を向上 させ交通マナーを身に 付けるため、幼児から 高齢者まで、それぞれの 発達段階やライフス タイルに合わせた体験・ 実践型の交通安全教室 を実施する。	市内での交通事故減少 を目指し、各年齢層に 応じて、交通安全の基 本となるルール、マ ナーの指導を行う交通 安全教室を開催した。 実施回数 小学校交通安全教室 37回 幼児交通安全教室 32回 高齢者交通安全教室 6回 地域等における交通 安全教室 20回 合計 95回	○	交通安全の基本となる ルール、マナーを学ぶ ことで交通安全意識の 向上が図られた。	市民安全課
		24	情報化・国際 化社会に 関する学 習機会の 充実	日々進化し続ける 情報化社会へ対応 することができよう、 ICTに関する知識や 技術の習得のため の学習機会を提供 します。	●パソコンやスマ ートフォン等の操 作を学ぶ講座の 実施	I C Tの活用に関 する講座	パソコンやスマート フォンなどの操作 方法や活用方法を はじめとしたICT に関する講座を 実施する。	(1)公民館 実 施 数：11講座(25回) 実施講座：スマ ートフォンの基礎 を学ぶ、L I N E 基礎講座 ほか 延受講者数：371人 (2)ふれあいセ ンター 実 施 数：13講座(37回) 実施講座：シ ニアのためのス マホ活用講座、 持ち込みパソ コン講座「イン ターネットを使 ってA Iを体験 してみませんか？」 ほか 延受講者数：399人 (3)青年の家 実 施 数：1講座(2回) 実施講座：シ ニアのための 初めての生成 AI講座 延受講者数：20人	○		公民館、ふれあい センター、青年 の家、東部市民 センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

26

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	24	情報化・国際化 社会に対応した 学習機会の充 実	国際化への意識を 高め、豊かな国際感 覚を育むことができ るような学習機会の充 実を図ります。	●外国語の習得に 向けた学習機会の 充実	外国語講座の実施	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国語など の講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：3 講座（16回） 実施講座：たのしい英会話～初級編～ ほか 延受講者数：233人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：3 講座（114回） 実施講座：初心者のための日常英会話 ほか 延受講者数：164人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。	(1)大学連携講座 実 施 数：1 講座（3 回） 実施講座：中部大学連携講座「日中文化交流の架け橋としての芸術」 延受講者数：41人	○		いきがい推進課
				●多文化共生に向 けた学習機会の充 実		外国の文化にふれる 講座	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験講座を実施す る。	(1)青年の家 実施数：1 講座 4 回 実施講座：楽しく歌おうビートルズ！ 延受講者数：42人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						わくわく！ふれあい ワールド	異文化への理解を深めると ともに、外国人市民と日本 人市民との交流を図るた め、市内で活動する国際交 流団体により設立された春 日井市国際交流ネットワ ークに委託し、「わくわく！ふれ あいワールド」を実施する。	実施回数：9 回 実施内容：世界のことばで「ありがとう」を伝えよう、グルッポ夏フェス！フィリピンを 楽しもう、春日井まつり「国際交流ひろば」など 延参加者数：3,413人	○	延べ3,000人を超える集客を維持してお り、グルッポ夏フェスや春日井まつりではフィ リピンの伝統的なダンスを披露するなど、新 たな試みも複数回実施できた。	多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1 社会的課題に対応した学習機会の充実	25 男女共同参画に関する学習機会の充実	男女共同参画についての理解を深めるための学習機会を提供します。また、女性のエンパワメント、男性の家庭生活への参加促進に向けた学習機会を提供します。	男女共同参画セミナー	●男女共同参画セミナー、出前講座の実施 あらゆる世代の方が生涯を通じて男女共同参画の視点を持ち、能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画していくために必要な能力を高めることができるよう講座の開催など学習機会を提供する。	(1)一般市民向け講座 実 施 数：7講座 実施内容：手作りコスメ体験講座、マジックパパのふしぎあそび、更年期を笑顔で過ごすための心と体のトリセツ、出前講座（春日井市立勝川小学校、春日井工科高等学校電子工学科、中部大学経営情報学部、かすがい女性連盟） 延受講者数：245人 (2)職員・学校向け講座 実 施 数：2講座 実施内容：LGBTQの理解、働き方改革・ハラスメント・男女共同参画について 延受講者数：105人	○	延受講者数は昨年度と比べると減少しているが、講座開催を多く実施し、周知の機会を多く展開することができた。	多様性社会推進課
			男女共同参画市民フォーラム	男女共同参画社会の実現を目指した意識啓発を目的に、市民、社会活動団体、企業、市がともに考える機会として、市民フォーラムを開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民フォーラムを開催した。 開 催 日：11月23日（日） 参加人数：136人 内 容：講演会、パネル展示	○	かすがい男女共同参画市民フォーラム実行委員会で内容を検討し実施。	多様性社会推進課
			各種講座の実施	●女性のキャリアアップや男性の家事、育児、介護能力向上のための講座の開催 女性のキャリア形成や管理職に就くまでのイメージの構築、本市で起業を希望する女性起業家の経営安定と質の向上を図るためのセミナー等を開催する。また、男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催する。	(1)女性向け講座 実施数：4講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援セミナー、起業応援セミナーフォローアップ会、テレワーク入門セミナー 延受講者数：227人 (2)男性の育児力向上講座 男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催した。 実施数：1講座 実施内容：マジックパパのふしぎあそび 受講者数：28人	○	女性向け講座は需要があり、一定数の受講者数が継続している。 また、男性の育児力向上講座については、身近な資材や身体を使って、親子で楽しくふれあえる講座を実施できた。	多様性社会推進課
			各種講座の実施	男性が主体的に家事や育児に参加できるよう男性向けの講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：6講座（6回） 実施講座：ホテルプラザ勝川シェフpresents男の料理塾、おやじの料理講座 ほか 延受講者数：111人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
		●ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた講座の実施	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、男女共同参画情報紙「はるか」による啓発のほか、事業者等に対する出張講座を行う。	男女共同参画情報紙「はるか」で仕事と育児・介護の両立、家庭での家事・育児・介護について啓発した。	○	「はるか」を発行し、市内の公共施設、保育園・幼稚園、小・中・高等学校及び近隣施設等に送付した。	多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己評価	事業実施の成果・特記事項	担当・関係課
2	地域の担い手となる人材の発掘及び育成	26	指導者となりうる人材の育成	地域のリーダーとして活躍できる人材を養成するとともに、生涯学習のニーズに対応できる潜在的な資質や活動意欲のある人材の発掘を推進します。	●人材を育成するための講座の実施	安全・安心まちづくりボニター養成講座	地域の安全についてリーダー的役割を担うボニターを養成するため、安全アカデミーを卒業した人を対象に養成講座を実施する。	安全アカデミーを卒業した人を対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月22日（木）・23日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）、気象防災アドバイザーによる防災講話、避難所資材の取り扱いについて	○	安全アカデミー卒業者のうち、養成講座受講者8名が安全・安心まちづくりボニターとして新たに委嘱を受けた。	市民安全課
						ヘルスマイト養成講座	地域において、食を通じた健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：8回 養成人数：17人	○		健康増進課
						認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：19回 養成人数：762人	○	小・中学生、地域住民、企業等、多様な世代に対し養成講座を実施し、認知症の正しい地域を広めた。	地域共生推進課
						野外活動・自然体験指導者講座	野外での体験活動、自然に親しむ活動、遊びなど様々な分野で十分な指導ができるよう講習会を開催する。	野外活動・自然体験指導者講座（3回） 延受講者数24人	○		野外教育センター
					●生涯学習情報サイトへの登録促進	まなびや選科（サイト）への講師登録	自分の知識や技能を他者に教えたい人と学びたい人を結びつけるため、講師を希望する人をサイトに登録することを促進する。	講師登録件数：190人（うち新規登録21人） アクセス件数：12,244件（前年比59,966件減） ※発信方法をKintoneに変更し、登録者に対し掲載確認を実施。 講師登録の一斉更新を実施し、活動実績がなく、登録のみとなっていた講師を削除したもの。	○		いきがい推進課
		27	ボランティアの育成	ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、ボランティアとして活躍する人材の育成を図ります。	●市民活動団体に関する情報の発信	情報紙「ささえ愛」	市民活動の情報を提供するため、市内で活躍している市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報紙を発行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「ささえ愛」を発行した。 発行部数：1,500部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大垣共立銀行春日井支店 ほか	○	市内で活躍する市民活動団体の紹介や団体が実施するイベント情報を掲載した情報を周知できた。	市民活動支援センター
					●ボランティアを養成するための講座や教室等の開催	健康マイスター養成講座	健康に関する正しい知識を持つ「健康マイスター」の養成講座を開催し、修了者のうち、希望者はボランティアとして、市などが実施する健康づくり事業に参加する。	実施期間：9月3日（水）～11月19日（水） 会 場：総合保健医療センター、保健センター 養成人数：20人 講 座 数：10講座 内 容：市の健康事情（講話）、健康マイスターボランティアの活動について（講話）、ウォーキングについて、準備運動と整理運動、安全管理・救命講習、認知症予防運動 ほか	○		健康増進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	地 域 の 担い手と な る 人 材 の 発 掘 及 び 育 成	27	ボランティアの育 成	ボランティア団体の活 動を広く周知すると もに、ボランティアとし て活躍する人材の 育成を図ります。	●ボランティアを養成 するための講座や教 室等の開催	文化財ボランティア の養成	貴重な文化財や歴史及び 伝統文化を次世代に伝 え、文化財保護を啓発す るため、文化財ボランティアを 育成する。	(1)ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を実施した。 実施回数：4 回 実施研修内容：「春日井の自然～蝶から考える春日井の自然～」ほか 延受講者数：71人 (2)ボランティア活動の内容及魅力を伝え、幅広い活動が実現できるよう会員数 の増加を図るため、養成講座を実施した。 実施回数：4 講座 2 回 実施講座内容：春日井の歴史と文化財について、ボランティアの会の 活動と魅力、下街道を歩く、二子山古墳見学 延受講者数：7 人 令和7年度末会員数:34人	○	養成講座の実施により新規会員が6 人 加入し、活動に必要な会員数を維持する ことができた。	文化財課
						各種ボランティアの 養成	手話、点訳など市内ボラン ティアの養成を行う。	実 施 数：5 講座 実施講座：手話奉仕員養成講座（入門課程、基礎課程、レベルアップ課 程）、点訳奉仕員養成講座、書いて伝える「聞こえ」のボランティア入門講座 延受講者数：1,532人	○	令和 7 年度より開催の「手話奉仕員養成 講座レベルアップ課程」では、6 年度の基 礎課程修了者から定員数に近い参加が あった。	社会福祉協議会等
						人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で 活躍する人材を育成するた め、人材育成セミナーを実 施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 延受講者数 219人 ・親子でボランティアチャレンジ 延受講者数 28人 ・かすがい次世代まちづくりリーダー育成事業 延受講者数 211人 ・社会貢献でウェルビーイングは向上するのか？ ～カードゲーム「from Me」で自分の価値観を見つめ直す～ 受講者数 45人 ・これからの春日井市の市民活動を考えよう！ 受講者数 32人 (2)市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者 41人	○	既存の事業に加え、新たな切り口で市民 活動支援センター主催事業を行うことで、 より多くの市民活動で活躍する人材を育 成できた。	市民活動支援セン ター
						図書館読み聞かせ ボランティア養成講 座	読み聞かせボランティアの必 要な知識や心構え、読み 聞かせの技術等を習得する 養成講座を実施する。	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希 望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座 を実施した。 実施回数：1 回（3 日間） 受講者数 4 人	○	養成講座の受講者 2 名がボランティア団 体に加え、ボランティアとして活動するこ とになった。	図書館
						グループふじとうにお ける地域住民サポー ター事業	高蔵寺まなびと交流セン ターにおいて「地域住民サ ポーター」を募集し、地域住 民との積極的な協働による 施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数：145人 活動内容：花壇の手入れ ・水やり、草刈り ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市・日本花の会）に出場） 育児保育のサポート活動 ・児童館での育児保育事業のサポート活動	○	地域住民の繋がり場となり、住民協働に よる施設運営を行う事ができた。	ニュータウン創生課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

30

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
3	学習成 果を生 かしたま ちづくり の推進	28	学びの成果を発 表する機会の提 供	市民が学んだ成果 を発表することで新 たな学びにつなげ、 市民同士の交流が 図れるよう、日頃の 活動成果を発表す る機会を提供しま す。	●公民館まつりを活 用した発表機会の 確保	公民館まつり	(1)中央公民館 発表会：2月22日（日） 団体数：13団体 作品展：（第1期）2月27日（金）～3月4日（水） （第2期）3月6日（金）～3月11日（水） 団体数：12団体 (2)知多公民館 発表会：3月8日（日） 団体数：8団体 作品展：2月26日（木）～3月3日（火） 団体数：10団体 (3)坂下公民館 発表会：3月8日（日） 団体数：7団体 作品展：3月11日（水）～15日（日） 団体数：15団体 (4)東部公民館 発表会：6月15日（日） 団体数：14団体 作品展：6月14日（土）・15日（日） 団体数：9団体	○		各公民館	
						芸能発表会	ふれあいセンターで活動する 団体が日頃の活動の成果 を発表及び展示する機会と して開催する。	(1)南部ふれあいセンター 発表会：11月9日（日） 団体数：11団体 作品展：10月28日（火）～12月26日（金） 団体数：11団体 (2)西部ふれあいセンター 発表会：10月5日(日) 団体数：11団体 作品展：10月5日(日)～10月11日(土) 団体数：5団体	○		ふれあいセンター
						レディヤン祭	レディヤンかすがいを活動拠 点としている利用団体が団 体活動の発表を通して交 流と親睦を図るとともに、男 女共同参画と青少年活動 等を広く市民に啓発するた め、レディヤン祭を開催す る。	・活動団体による発表 10団体 ・活動団体による体験教室 13団体 ・団体PRコーナー出展団体 4団体 ・展示コーナー出展団体 2団体 ・運営協力団体 1団体 ・来場者数 379人	○	レディヤン祭実行委員会で内容を検討して いる。	多様性社会推進課
						ハーモニーフェスティ バル	ハーモニー春日井の利用団 体が、楽器演奏などの練習 成果の発表を通じて団体 相互の親睦と地域住民等 との交流を図るため、フェ スティバルを開催する。	第24回ハーモニーフェスティバル 期日：12月14日（日） 出演団体：9団体	○		青年の家
						●作品展や発表会 などの開催	展示コーナーでの成 果発表	公民館等の展示コーナーを 貸し出し、個人やグループ の作品展示を行う。	(1)公民館 展示回数：90回 作 品 数：1,866点 (2)ふれあいセンター 展示回数：55回 作 品 数：2,846点	○	

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
					●生涯学習情報サ イト登 録 講 師 の 市 民講座等への登用	登録講師の市民講 座等への登用	公民館等で実施する講座 に生涯学習情報サイトに登 録されている講師などを積 極的に登用する。	講師新規採用数：15人 情報サイト登録者：11人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
3	学 習 成 果 を 生 かしたま ちづくり の推進	29	市民自らが企画 した講座の開催	市民が学習で得た 知識や技術を広く生 かせるよう、「学ぶ」だ けでなく、「教える」 楽しみや生きがい を感じることができる場 をつくり、市民が主体 となった生涯学習の 推進を図ります。	●市民が講師として 活躍する場の提供	講師発掘・登用事 業	さまざまな知識や技術 を持った市民を募集し、応募 者自らが企画した講座の講 師として活躍する場を提供 する。また、登用した講師を 市主催講座で積極的に活 用する。	応募件数：34件 採用件数：16件 実 施 数：16講座 実施講座：キッズビート☆ダンス～親子で楽しもう～ ほ か 延受講者数：344人	○		いきがい推進課
						出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会所 で講座を開催する。	実 施 数：30講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほ か 実施講座：笑って楽しく認知症予防！、なぞとき・宝探しゲーム ほ か 延受講者数：787人	○		いきがい推進課
					●生涯学習活動団 体が講師を務める 講座の実施	市民のためのチャレ ンジ講座等	施設を利用している生涯学 習活動団体による講座を 実施します。	(1)公民館 実 施 数：8 講座（14回） 実施講座：楽しむ絵手紙、ハワイアンリボンレイを作ろう ほ か 延受講者数：92人	◎		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		30	住民主体による 生活課題の解 決に向けた学習 の支援	住民自らが地域の 担い手として地域課 題の解決に取り組む ことができるよう、住 民主体の学習に対 する支 援を行いま す。	●生涯学習出前講 座による支援	出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会所 で講座を開催する。	実 施 数：30講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほ か 実施講座：笑って楽しく認知症予防！、なぞとき・宝探しゲーム ほ か 延受講者数：787人	○		いきがい推進課
●地域課題解決に 向けた取組に対する 費用の助成	生涯学習まちづくり 出前講座				市民等により構成される団 体の依頼に応じ、市職員を 地域の集会所等に派遣 し、行政情報や施策に関 する講座を実施する。	実 施 数：17講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほ か 実施講座：住宅の侵入盗について、介護保険のしくみについて、 「わが家」の終活講座～空き家で困らないために～ ほ か 延受講者数：623人	◎		いきがい推進課		

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

32

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 7 年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	身近な 生涯学 習施設 の充実	31	市民が利用しやすい、利用し たい施設運営	市民にとって使いやすい施設の運営を 推進します。また、 施設に関する情報 発信を行い、施設の 利用促進を図りま す。	●利用者ニーズに 基づいた改善や管 理運営方法の改善	施設予約に関する 利便性の向上	市民にとって利用しやすい 施設運営を推進するため、 予約方法などの利便性の 向上を図る。	生涯学習活動団体の活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前か ら予約を受付した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						Wi-Fi環境整備	施設利用者の利便性を高 めるため、施設の機能向上 を図る。	利用者の利便性を図るため、公民館、ふれあいセンター等の各1室にWi-Fi環 境を整備した。（令和4～5年度実施） 設置施設：公民館（中央、知多、鷹来、坂下） ふれあいセンター（味美、高蔵寺、南部、西部） 青年の家、レディヤンかすがい	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						社会教育事業連絡 調整会議	各公民館、ふれあいセ ンター等の機能の充実を目指 し、各施設における課題等 を共有し、課題解決のため の協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るた め、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実 施 数：10回	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●交流スペースの設 置	交流スペースの設置	幅広い年代の方が気軽に 立ち寄りやすい施設とるよ う、交流スペースを設置す る。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●施設の魅力に関 する情報発信	施設利用に関する 情報発信	施設の利用を促進するた め、各施設の情報を発信 する。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		32	施設の有効活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をより 多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図りま す。	●学校体育施設の 開放	学校体育施設の開 放	市民の健康増進や体力の 向上を図るため、スポーツ 活動の場として市内の小中 学校体育館、中学校武道 場及び県立学校体育施設 を学校教育に支障のない 範囲で開放する。	市立小中学校及び県立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地 域住民等に開放することにより、市民の健康の保持増進・体力の向上を図る。 (1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め6校の校庭 利用者数：682人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：297,316人	○	身近な施設でスポーツに親しむ機会を提 供できた。	文化スポーツ振興課
					●小学校余裕教室 の開放	松原学習センター	地域住民の生涯学習活動 やコミュニティ活動の推進を 図るため、松原小学校の余 裕教室を活用し、施設の 貸館や生涯学習指導員に よる講座を実施する。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に講座を実施した。 登録団体：2団体 利用件数：29件 利用者数：541人 講 座 数：34講座（107回） 実施講座： 俳句に親しもう！～春編～、大人の塗り絵を楽しみましょう ほか 延受講者数：1,472人	○	令和7年度をもって松原学習センターを閉 館	いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
1	身 近 な 生 涯 学 習 施 設 の 充 実	32	施 設 の 有 効 活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をより 多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図りま す。	●小学校の余裕教 室の開放	小学校余裕教室の 開放	市民の生涯学習活動の推 進とコミュニティの育成に寄 与するため、白山小学校、 牛山小学校、石尾台小学 校の余裕教室を地域の団 体に開放する。	登録団体数 白山小学校：なし 牛山小学校：なし 石尾台小学校：2団体	○		いきがい推進課
					●予約が入ってい ない集会室等の有効 活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンタ ー等の空き室を有効活用し、 学習室として開放することで 中高生の自主学習を支援 する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、 味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあ いセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディ ヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日 午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：7,835人	○		いきがい推進課
		33	施 設 の 適 切 な 維 持 管 理	施設の計画的な点 検はもとより、不具 合に対する早期対 応や修繕を行い、必 要に応じた設備、機 器の更新などによる 利用環境の充実や 機能の向上、安全 で快適な施設環境 の充実を図ります。	●市公共施設等マ ネジメント計画に基 づく計画的な改修・ 修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行 い、劣化状況等を把握する とともに、施設保全計画に 基づき、計画的な修繕を実 施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)坂下公民館料理教室温度制御機器更新工事等 (2)味美ふれあいセンターホール舞台吊物ワイヤー修繕 (3)南部ふれあいセンター高圧気中開閉器取替修繕、玄関扉修繕等 (4)西部ふれあいセンター空調設備改修工事 (5)レディヤンかすがいファンコイルユニット更新工事等 (6)少年自然の家防火戸修繕、水冷チラー薬品洗浄他修繕等	○		公民館、ふれあいセ ンター、東部市民セ ンター、青年の家、 道風記念館、多様 性社会推進課、野 外教育センター（社 会教育施設）
計画的な修繕	施設の定期的な点検を行 い、劣化状況等を把握する とともに、施設保全計画に 基づき、計画的な修繕を実 施する。					施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)総合体育館：機能向上改修工事 (2)朝宮公園：陸上競技場第3種公認検定更新修繕 (3)温水プール：プールサイド柱脚等修繕 ほか	○	指定管理者と連携し、必要な施設修繕が 計画的に実施できている。	文化スポーツ振興課 （社会体育施設）		
2	関 係 機 関 と の ネ ッ ト ワ ー ク の 構 築	34	地 域 の 大 学 や 事 業 者 と の 連 携	大学や民間事業 者、NPO等の専門 的な知識を有する 人材をはじめとする 豊富な学習資源を 活用し、大学や事 業者等と地域が連 携した生涯学習の 場づくりを目指し ます。	●大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	大学連携講座の開 催	市民の多様化する学習 ニーズに応えるため、大学が 持つ優れた人材と設備を活 用し、高度な内容の講座を 実施する。	近隣の大学と連携し講座を実施した。 連携大学：中部大学、名城大学、愛知大学 実 施 数：12講座 実施講座：野菜づくりとサイエンス、映画を楽しむには原作を読んでおく 必要があるのか？、現代の思想家チャールズ・テイラーに学ぶ ほか 延受講者数：537人	○		いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

34

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和7年度の実績	自己 評価	事業実施の成果・特記事項	担当・ 関係課
2	関係機 関との ネット ワークの 構築	34	地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業 者、NPO等の専門 的な知識を有する 人材をはじめとする 豊富な学習資源を 活用し、大学や事 業者等と地域が連 携した生涯学習の 場づくりを目指し ます。	●大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	民間団体・事業者 との連携	民間団体や企業が持つ知 識やノウハウを活用するた め、講座への講師として派 遣を要請するなど連携を図 る。	障がい者の方への生涯学習活動の場を提供した。 事業名：障がい者を主体としたサークル活動 12回、延参加者数243人	○		いきがい推進課
						民間団体・事業者 との連携	民間団体や企業が持つ知 識やノウハウを活用するた め、講座への講師として派 遣を要請するなど連携を図 る。	(1)公民館 実施数：21講座（58回） 実施講座：ウォーキング＆筋トレ講座～転びにくい身体を作る～、はじめて のスマートフォン教室～アンドロイド～ ほか 連 携 先：春日井市健康管理事業団、大垣共立銀行 ほか 延受講者数：1,727人 (2)ふれあいセンター 実施数：19講座（66回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、和で華やぎ和で 祝う「お正月花1 day講座」 ほか 連 携 先：あい・愛マインド、グループゆう、春日井市華道連盟 ほか 延受講者数：873人	○	公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
				●講座実施に向け た連携・協力体制の 構築		大学等との連携・協 力体制の構築	市と連携協定を結んでいる 企業、大学等との生涯学 習分野における協力体制 を強化する。	実績なし	×		いきがい推進課
		35	近隣自治体との 連携強化	市民へより多くの学 習情報の提供や学 習機会を拡充するた め、近隣自治体との 連携を図ります。	●近隣自治体の情 報や人材の相互利 用による生涯学習の 推進（愛日社会教 育担当者連絡会への 参加）	愛日社会教育担当 者連絡会	近隣市町との連携や情報 共有を図るため、小牧市や 瀬戸市を始め11市町で構 成された愛日社会教育担 当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月21日（水）：名古屋市三の丸庁舎 8月8日（金）：研修会（瀬戸市） 2月5日（木）：研修会（長久手市）	○		いきがい推進課